

旧玉名干拓施設(明豊・大豊堤防)草刈り清掃活動

令和6年10月26日(土)午前7:00から旧玉名干拓施設(明豊・大豊潮受堤防)(熊本県玉名市)で行われた、横島町文化財保存顕彰会主催の草刈り清掃活動に302名(うち会員42名)参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治20年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、末広開、明丑開、明豊開及び大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmにも及び、国の重要文化財にも指定されています。

本年度は、同施設の東側の明豊開潮受堤防・大豊開潮受堤防(2.4km)を対象に、除草作業が行われました。

当日は、7:00受付開始、7:30を目途に作業を開始する予定としていましたが、天候不順だったため、団体毎に受付後直ちに受け持ち範囲の草刈り、空き缶等の収集作業を開始しました。例年になく雑草が繁茂し、作業中には雨足が強くなりましたが、多くの皆さんに参加して頂き、終了予定時間前に作業を終えることができました。

作業内容は草刈りから集積作業までとし、後日、草が枯れてから主催者が搬出を行う予定です。

集合写真



草刈り作業状況



草刈り作業状況



草刈り作業完了

